



国際会長 (IP) A. Shanavaskhan (India)

Together for a Better World

「より良い世界のために、共に」

アジア太平洋地域会長 (AP) ジョウン・ウォン (香港)

“Make a Great Impact”

「大きなインパクトを起こそう」

東日本区理事 (RD) 山田 公平 (宇都宮)

“Our Future Direction”

「ワイズの方向性を見極める」

湘南・沖縄部部長 (DG) 久保勝昭 (横浜つるみ)

「共に支え合い〜共に喜びを」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「楽しんで、できる範囲で、YMCA と地域に伝えよう (パートII)」

監事 松島 美一  
ブリテン 秋元 美晴  
担当主事 立花 明美

会長 古田 和彦  
副会長 秋元 美晴  
書記 古賀 健一郎  
会計 大高 治  
直前会長 古賀 健一郎

### <今月の聖句>

押川 幸男

「雲の中に虹が現れると、わたしはそれを見て、神と地上のすべての生き物、すべて肉なるものとの間に立てた永遠の契約に心を留める。神はノアに言われた。これが、わたしと地上のすべて肉なるものとの間に立てた契約のしるしである。」

(創世記9章16-17節)

と、当時の苦しみの中で生活していた方々を思い、再び悪夢のような過ちを繰り返してはいけないという強い気持ちが奮い起こされます。

私は長崎で生まれ育ち、通った高校は爆心地の近くにありました。



### 今月のひとこと

#### 『焼き場に立つ少年』

古賀 健一郎

毎年8月は「戦争と平和」について考える季節です。「平和の祭典」とも言われるパリオリンピックが現在開かれている一方で、今もなおロシアによるウクライナへの軍事侵攻やガザでの紛争など、世界の各地で平和とはほど

遠い状況が続いています。1945年8月6日 (広島) と同月9日 (長崎)、原爆投下により一瞬にして多くの尊い命が奪われました。豊かな暮らしができる現在でも、毎年この時期になる

米国のカメラマン、ジョー・オダネル氏が1945年に撮影した写真があります。10歳くらいと思われる少年が、口を固く結びながらまっすぐに立ち、視線をまっすぐ前に向けています。少年は目を閉じた幼児を背負っており、この幼児は少年の弟で、すでに息を引き取っていて、少年は火葬の順番を待っているものとされています。人々から「焼き場に立つ少年」と呼ばれており、ここで言う「焼き場」とは、爆心地に近い浦上川沿いの原爆で亡くなった方々を火葬する場所のことです。

ジョー・オダネル氏は下記のように当時の様子を語っています。「焼き場に10歳くらいの少年がやってきた。小さな体はやせ細り、ぼろぼろの服を着てはだしだった。少年の背中には二歳にもならない幼い男の子がくくりつけられていた。その子はまるで眠っているようである。少年は焼き場のふちまで進むとそこで立ち止まる。わき上がる熱風にも動じない。係員は背





中の幼児を下ろし、足元の燃えさかる火の上に乗せた。まもなく、脂の焼ける音がジュウと私の耳にも届く。炎は勢いよく燃え上がり、立ちつくす少年の顔を赤く染めた。気落ちしたかのように背が丸くなった少年はまたすぐに背筋を伸ばす。私は彼から目をそらすことができなかつた。少年は気を付けの姿勢で、じっと前を見つづけた。一度も焼かれる弟に目を落とすことはない。軍人も顔負けの見事な直立不動の姿勢で弟を見送ったのだ。」

ローマ教皇は、この写真に「戦争がもたらすもの」とメッセージを添えたカードを関係者に配布しました。「写真を見て胸を打たれた。このような写真が千の言葉よりも多くを語る。だから分かち合いたいと思った」と語っています。

ある被爆者の方は言います。「私は名前を残されずに死んでいった子どもたちの思い、絶対に生きたかったと思う。どんなことがあっても。だから命を大切にしたい。でもその命を奪ったのは戦争。だから戦争だけはどんな理由があってもダメという気持ち」。

ジョー・オダネル氏は原爆投下直後の被爆地に入り、目を覆いたくなるような惨状を目の当たりにし、戦争を二度と起こしてはいけないという強い信念を持つようになりました。国境を越えて、人類にあってはならないことだと伝えたかったに違いない。平和が脅かされ、恐れがこの世界を支配しているような厳しい現実において、「私たちは、微力だけど、無力じゃない」という信念をもって、平和への行動を進めていきたいと思ひます。そして、様々な新しい賛美歌を集めた『これもさんびか』のある短い歌詞『主の平和が わたしたちに 日本に 世界に 豊かに 豊かに 豊かに ありますように』を心で口ずさみながら……。

## <2024年7月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
14名	メン 8名 メネット 0名 コメット 0名 ビジター 2名 ゲスト 0名 合計 10名	64.3% (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円

## <8月行事予定>

日	曜	時間	行事内容	場所
2-4	金～日	10:00	AIDS文化フォーラム	神奈川県民センター
8	木	17:00	第二例会	Zoom
22	木	18:00	第一例会(納涼会)	カフェドラブレッセ
30	金	10:00	日本語スピーチコンテスト	中央Yチャペル

## 第一例会報告

秋元 美晴

日時：7月11日(木) 18:30～20:30

場所：横浜中央YMCA

出席者：秋元、マーククロトカ、大高、古賀、田口、立花、古田、Zoom：齋藤

ビジター：久保部長、板崎書記

司会：秋元ワイズ

例会は、司会により定刻に開始。

- 古田会長の開会点鐘および挨拶
- ワイズソング、ワイズ信条唱和
- 佐竹ワイズの今月の聖句(コリントの信徒への手紙I 14章20節)を古田ワイズが朗読し、お祈りをする。
- 古田会長より公式訪問で出席の久保勝昭部長(横浜つるみ)、板崎淑子書記(鎌倉)の紹介があった。
- 【部長公式訪問】

久保部長から、2024-25年度の部長として、年度の方針、事業計画とクラブへのお願い、ワイズ・YMCAへのかかわり・願いなどに関して挨拶があった。

### 6.【総会】

議長選出と定足数の確認：議長は古田会長が兼ねる。会場7名、Zoom1名、委任状4名(伊藤ワイズ、佐竹ワイズ、押川ワイズ、明美クロトカワイズ) 会員14人中12名の出席により総会は成立。

議案の審議

- 第1号議案 2023-24年度事業結果報告(資料1～4)・・・古田・秋元  
事業報告(資料1)、会員移動(資料2)、例会出席(資料3)、評価(資料4：活動方針 活動実績評価)
- 第2号議案 2023-24年度事業委員報告・・・各事業委員の口頭報告
- 第3号議案 2023-24年度会計報告(資料5)・・・大高  
第1号議案から第3号議案まで一括して承認された。
- 第4号議案 2024-25年度クラブ役員、事業委員の確認(資料6)・・・古田

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

- ・第5号議案 2024-25年度運営方針と事業計画（資料7、8）・・・古田・古賀  
クラブ主題「楽しんで、できる範囲で、YMCAと地域社会に仕えよう（パートII）」

基本方針：前年度の方針を継続して深化させる年にします。私たちは高齢者も多く、多くの事は望みません。できる範囲で、楽しみながら、YMCAと地域社会に仕え、ワイズ同士の交流を深めていきましょう。

- ・第6号議案 2024-25年度 横浜クラブ予算案（資料9）・・・大高
- ・第7号議案 横浜ワイズメンズクラブ 会費等に関する施行細則

次の3. 2)、3)については、2024年4月1日に施行する。

### 3. 会費

- 2) 正会員は一般会員とペア(Pair)会員からなる。ペア会員は2人組の入会者をいう。
- 3) 一般会員の会費は月額4,000円、ペア会員の会費は一人当たり月額3,000円とする。

第4号議案から第7号議案まで一括して承認された。

## 7. キックオフ例会・・・古田

### ・ビジネス・報告

#### (1) 8月納涼例会の準備

8月12日が締め切りだが、8日の第二例会までにゲストの数を伝える。

7月19日の午後に会場の下見をする。→会場・備品の準備、配置の確認。日本語スピーチコンテストの協賛の機関（共立メンテナンス・村田製作所など）にチラシを配る。

押川牧師に『聖書』朗読・祈禱を依頼。

#### (2) 第11回日本語スピーチコンテスト

7月4日にYMCAの平岡先生とメールで打ち合わせをし、今年度から、スピーチコンテスト終了後に評価会を実施することになった。審査員、懇親会の司会は第2例会にて協議する。

#### (3) 9月第一例会

卓話を日本YMCA同盟会長山本俊正氏にお願いすることになった。

#### (4) ブリテン8月号編集計画の確認（別添資料）

#### (5) その他

- ① ロースター(会員名簿)は5部注文する。
- ② ②8/16鎌倉クラブの異動例会（歌舞伎鑑賞）の紹介があった。

## 8. 閉会点鐘：古田

## 1. 開催日時・場所

2024年7月11日(土) 15:00~17:00 於：湘南とつかYMCA 1階ホール

2. 委任状を含め全員の出席により成立（辻監事も出席）
3. 全体司会は部書記の板崎ワイズ（鎌倉）、議事の議長は久保勝昭部長（つるみ）
4. 議案とその採決結果

### 1) 第1号議案「2023-24年度事業報告の件」

黒川勝直前部長より、第1号議案書に基づき2023-24年度の事業報告がなされた。内容は、部長主題、【活動概要】湘南・沖縄部大会開催、評議会開催(3回)、YMCAとの協議会開催(4回)、部長公式訪問、部報発行(2回)、東日本区臨時役員会（戸塚クラブの解散など）等である。異議なく承認された。

2) 第2号議案「2023-24年度会計決算報告・監査報告」が、黒川直前部長から、第2号議案書により会計決算が報告された。また、辻監事から監査報告があった。「一般会計収支」より「特別会計」に特別会計繰入金として一部組み換えがあったが、収支額の変更はなく、承認された。（一般会計収入：242,509円 支出：133,980円 収支差：108,529円 次期繰越：450,007円 特別会計 特別会計繰入金：300,000円、次年度繰越金：471,000円。 予算の時点で0であったものを繰越すのであるから、この会にはかられたのは正しい処置。

3) 第3号議案「2024-25年度予算案の件」久保次期部長から次の提案があった。（一般会計）収入：222,400円 支出：222,400円 収支差：0円。特別会計では、特別会計繰入金300,000円を前年度繰越金171,000円に加えた471,000円を次年度繰越金とする。今年度の新クラブ設立の一時金には、予備費と特別会計繰入金から支出の予定であるとの報告があり、原案通り承認された。

4) 第4号議案「2024-25年度第一回湘南・沖縄部評議会の件」久保部長より議案書に基づき提案があり、承認された。日時：10月26日(土)14:00-16:00 内容は基調講演として、第1部は部大会 基調講演の講師は益巖氏（日本バプテスト同盟 大師新生教会牧師）、テーマはアルコール依存症からの回復～寿地区での経験から～。第2部はユース報告、第3部はハーブミニコンサート。

5) 第5号議案「部名称変更について」部則改正委員会を立ち上げ、11月30日の評議会に提案されることで、承認された。なお、構成員のオブザーバーとして辻監事が出席したいということであった。

### 6) 報告・連絡

・YMCA フェスタ（9月30日）でチラシを置いて、各クラブの宣伝をする

・部長報告（7/13 区役員会報告：一般会計はここ数年大変厳しい決算状況が続いている/YWFの各クラブの負担金について/サポートファンドの次年度以降の継続について早急な検討が必要など）

・各事業主査報告（つづきクラブの今城ワイズより2024-25年度の国際・交流事業の進め方についての資料が配布された。各クラブはこれに携わる担当者を決めてほしいという提

## 「2024-2025年度湘南・沖縄部第1回評議会報告」

秋元 美晴

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

案があった。また、献金の各項目の意義について学び、実施した事業内容とその成果に説明を求め、皆様との共有を計り、更にDBC、IBCのマッチングの情報を収集し、パートナーさがいのお手伝いしたい旨のメッセージがあった。また、新クラブの設立総会9/14の案内のチラシが配布など・各クラブの報告(各クラブの計画・例会の内容など、当クラブからは、8/24納涼例会と8/30の日本語スピーチコンテストについてアピールした。つづきクラブから9/28のYou and Iコンサートのチラシとチケットが配られた。

・YMCAの報告 8/2-4エイズ文化フォーラム、9/23YMCAフェスタのアピール。

・東京多摩スマイルの石田ワイズより第28回東新部部大会(10/5)でのEnding Noteの寸劇のアピールがあった。

5. 監事講評 辻ワイズからは、共に喜びながら久保部長の方針をサポートして行きたいとしめられた。

当クラブの出席者：秋元、大高(会場)、古田、古賀(委任状)

## 近況報告

「近況:よれよれながらなんとか生かされています」

伊藤 誠彦



2021年10月、ステージIVの悪性胸中皮腫(希少癌の一種)と診断され、何も治療しなければ余命、数週間から1年と告げられました。癌の治療には手術、放射線療法、抗癌剤による化学療法がありますが、私の場合は免疫療法という新しい治療法が採用されました。治療方針を聞いて、治癒を目指すというよりは延命治療の位置づけだと理解していました。正直なところ80歳の誕生日(2022年11月)を迎えるのは無理と覚悟していましたが、有り難いことにいまだに生かされています。

現在もオプジーボと呼ばれる薬を3週間に一回のペースで点滴を受けています。オプジーボは京都大学の本庶佑教授が開発された薬で、「新しい癌治療方法を発見した」功績により、2018年ノーベル賞を受賞されています。奇しくも、日本経済新聞の2024年6月の「私の履歴書」に本庶さんが執筆され、オプジーボの効用や開発の苦労話なども紹介されました。

後で知ったことですが、悪性胸膜中皮腫の治療にオプジーボを用いることが厚生労働省により承認されたのは2021年5月のことですから、不幸中の幸いとも言えます。

これまでの間、全てが順調に経過してきたわけではありません。

2022年3月にはコロナを院内感染しました。その後遺症で未だに味覚障害に悩まされています。あれほど好きだったお酒の味が分からなくなりました。お酒はおいしくなければ飲まなければそれでよいのですが、家内が工夫を凝らして作ってくれる食事の味がよく分からなくなったのは誠に辛いことです。

2023年10月には、急に息苦しくなり、救急車で搬送され集中治療室に約2週間、寝たきりで治療を受ける羽目になりました。

本人は意識が無かったため自覚していませんが、「家族の皆さんにお知らせしてください」と言われたそうで、死の一手前だったようです。

寝たきりの生活だったこともあり退院後、体力が極端に落ちました。介護保険の要介護2に認定され、ケアマネージャさんの指導の下、毎週1回3時間のリハビリデイサービスに通っています。

それ以来、ワイズでのお役目「ブリテン編集」の役割も果たせず、古田会長はじめ多くの方にご迷惑をかけました。

なんとか、社会との繋がりを保ちたく、現在は地元自治会の老人会の書記を務めるとともに、老人会の囲碁同好会に毎週1回出かけて頭の体操に努めています。

## 第二例会報告

古賀 健一郎

日時：7月19日(金) 09:00~10:20 Zoom開催

出席者：秋元、大高、古賀、立花、古田

《今後の行事予定》

・確認した。特に8月の第二例会は納涼例会準備の為、8月8日(木)に17時に変更した。

《協議・報告事項》

(1) 8月納涼例会準備

8/22(木) 18:00~20:00 於 カフェドラブレッセ

① 食事 料理の内容 ビュッフェスタイル

② 飲み物 ビール、ワイン、ソフトドリンク

③ 人数の確定時期 8/12(1次締切) 前日微調整

④ 出し物の計画 久保さんをお願いしている→7/19 15:30 下見に同行して準備

⑤ 費用：ワイズメン 7,000円 ゲスト5,000円

⑥ 金沢八景、厚木、横浜の3クラブの合同例会を確認した。開会・閉会点鐘司会などを3クラブで分担し行いたい。

⑦ 声かけるゲストを確認し、各人が関係者へ積極的に呼びかけをし、メネットを含めワイズ関係者とゲストの出席者の動向を8月8日までに把握する。

⑧ 7/19 15:30に会場下見予定(久保部長、古田、古賀)。会場・備品の準備、配置など確認。

⑨ 納涼例会で使用する名簿については、個人情報取り扱いを考慮します(クラブブリテン編集時の名前・写真掲載の許可の有無)。

(2) 日本語スピーチコンテスト

・8/30(金) 10~12時 中央Yチャペルとオンライン(他YMCAからの参加ある時)

・当クラブの役割 審査員1名(伊藤比朗美メネットに打診する)、懇親会司会(古賀)、クラブ会長の挨拶(古田)

・拠出金は3万円

・7/4(木) YMCA側(平岡さん)との打ち合わせを行い、前年度をほぼ踏襲し、終了後に評価会を行い、次年度に備えることとした。

・ゲストとして可能性のある方々(村田製作所を含め)

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

にできるだけ声掛けをし、このプログラムを広く見てもらえるような働きをクラブとしてしたい。

- (3) 部第1回評議会 7/28(土) 15:00-17:00 於とつかYMCA (秋元・大高出席、古田・古賀委任状)
- (4) 9月例会 卓話者 山本俊正さん (日本YMCA同盟会長)
- (5) ブリテン8月号編集計画



**担当主事 立花 明美**

YMCAのプログラムは7月後半より休みとなり、夏季プログラムが始まりました。毎日暑い日が続きますが、メンバーや学生たちはこの夏休みに色々な経験を積んで、成長した姿に会えることをスタッフ一同楽しみにしています。

- 7月 1日(月)~7日(日)横浜 YMCA 安全週間
- 7月 7日(日) 富士山 CAMP 実技トレーニング
- 7月 8日(月)~9日(火)全国Y英語教育担当者会 @横浜中央YMCA
- 7月 11日(木) グローバルキンダーガーデン避難訓練
- 7月 20日(土) 横浜 YMCA 学院専門学校国際情報ビジネス科オープンキャンパス
- 7月 22日(月) グローバルキンダーガーデン 夏季保育開始
- 7月 24日(水) 日本語学科 授業最終日
- 7月 25日(木)~26日(金)全国Y日本語教育担当者会 @和歌山YMCA
- 7月 28日(日) 健康事業 幼小クラス最終日
- 7月 31日(水) 学童保育 富士山 YMCA キャンプ

**8月納涼例会プログラム**

日時: 8月24日(木) 18:00~20:00  
場所: カフェ ドゥ ラ プレス

司会: 佐藤節子ワイズ

- 1. 開会点鐘および挨拶.....古田会長
- 2. ワイズソング・ワイズの信条.....全員
- 3. 今月の聖句.....押川ワイズ
- 4. 食前の感謝.....同上
- 5. 乾杯.....鈴木茂ワイズ
- 6. 食事・歓談
- 7. うたごえ広場.....久保勝昭ワイズ
- 8. 報告・連絡
- 9. 閉会点鐘.....高橋徳美ワイズ

**<9月の行事予定>**

日	曜日	時間	行事内容	場所
3	火	19:00	第103回Y-Y'協議会	中央Y
12	木	18:30	横浜クラブ第一例会	中央Y
23	月・休	10:00	横浜YMCA フェスタ	とつかY
26	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 立花明美にご連絡ください。

メール tachibana\_akemi@yokohamaymca.org  
電話 045-661-0080